



広 報

ひがしゆり

平成4年12月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

1992 12

No.453



★主な内容

- 高齢化社会の生きがいフォーラム……2～3
- 功労者表彰ほか……4～5
- 道路整備……6～7
- 今年はこんな年でした……8～9
- 産業文化祭……10
- まちのたからものほか……11
- トピックス……12～13
- みんなの広場……14～15
- 郷土の野草ほか……16

はやく小学校に行きたいな
来年の小学校一年生五十六人の健康診断が十一月二十日、有隣館で行われました。この日は、目や耳の検査、お医者さんや歯医者さんの診察が行われました。
最初は元気いっぱいの子供たちも、お医者さんの診察にはちよつと緊張がみ。それでも友達との診察に笑ったり、心配そうだったり、仲良しの子供たちでした。「来年は小学生だね」とたずねると「はやく小学校に行きたいな」と無邪気な笑顔。
将来を担う子供たちの健康は、町全体の願い、明るく元気に育ってほしいものです。



- コーディネーター 秋田魁新報社論説委員 佐藤達夫氏
- パネリスト 秋田県福祉保健部長 谷口 隆氏
- 秋田県由利農林事務所長 鎌田誠治氏
- 秋田短期大学教授 豊巻孝子氏
- 本荘第一病院長 小松寛治氏



県福祉保健部長
谷口 隆氏

自主自立の心が土台

健康で生き活きとした生活のために行政側では、①医療、年金などの保険制度②生活保護などの公的扶助③公衆衛生や健康指導などの健康な体づくり④介護や福祉活動などの社会福祉の四つの柱を展開しています。これまでの行政は戦後の復興期にスタートした事もあり「いかにして救うか」という観点に立っていましたが、本来的には「困る前に手を打つ事」だと考えます。しかしながら基本は「自分の体は自分で守る」自立の精神が大切です。そのためにお互いに支えあい、行政も支援して支えあい福祉制度を推進していかねばなりません。



県由利農林事務所長
鎌田 誠治氏

高齢化社会の生きがいフォーラム

長寿社会をどう生きるか

人間は、誰しもがいずれは高齢期を迎えます。したがって高齢化社会の課題は私たち町民一人一人の課題でもあります。その課題に取り組もうと、町と町社会福祉協議会は十一月十一日、健康増進センターで「東由利町社会福祉大会・高齢化社会の生きがいフォーラム」を開催し、三百五十人が参加しました。

午前中は「生き活きとした高齢者と地域づくり」と題してシンポジウムを行い、四人のパネラーからそれぞれの立場での福祉の在り方の提言がなされました。

午後からは町社会福祉大会（四面に記載）、そして日本漫才協団理事長で漫才師の青空一夜さんが「人 ふれあい 芸の道」と題し記念講演しました。

生きがい こびとぎ農場

東由利町は全人口の七五％が農家人口、これは由利郡平均の三九％を大きく上回っています。町でも「あきたこまち」と由利牛の里」の名のとおり農業を基盤にした町づくりを進めているようです。この中で今後お年寄りが生きがいをもって取り組める農業について、畜産と野菜の面から話してみたいと思います。

当町では昨年、由利家畜市場に上場



350人が参加したシンポジウム

した牛が千頭を越え、それを祝う「千頭まつり」が六月五日に行われました。ただ、上場頭数が増えても飼育農家は減少の傾向にあります。そこでお年寄りの方々には「一人一頭運動」や「こつぶき農場」などで牛の世話をしていただき、健康、経済の面でも豊かな生活に結び付くものと思います。野菜づくりは稲作の合間に仕事ができ、しかもお年寄りの経験を生かして取り組める仕事です。そこで大事なことは自分の得意な品目を無理しないで作ることで、そして栽培を通して子供達や都市住民と触れ合うことが大切です。

三 “かく” 運動のすすめ



秋田短期大学教授 豊巻孝子氏

お年寄りの理想の食生活は「質の良いものを少し食べる」と言われています。そして、①コミュニケーションのある食事②開けやすい容器を使った食事③カルシウムをふんだんに使った食事の三つに気をつけた食事を心掛けたいものです。

次にお年寄りには三つの“かく”が大切だと考えます。第一に「汗をかく」これは体を動かしていつまでも健康でいられるようにという事です。人間は体が資本、適度な運動が大切です。第二に「字をかく」字を書くことや指先を使うこと、考えることによりボケ防止につながります。第三に「恥をかく」これは少し抵抗があるかもしれませんが、いろいろな人と触れ合うと、時には「恥をかく」こともあるものです。でも人々とのコミュニケーションを通して得るものもたくさんあります。積極的に活動してください。最後に、お金、人材、機材の活用をいかにするか、そしてその中心がいか

しだされてきて、共に支えあい分かちあうことができ、豊かな社会につながると思います。



本荘第一病院院長 小松寛治氏

体力づくり・掃除・洗濯

最近、高齢者という言葉が不適当ではないかと思う事がよくあります。六十歳、七十歳になってもバリバリ仕事をする人が多く、これからは七十五歳までは青年会、それを過ぎたら高齢者としても良いのではないかと考えています。

長年医者をやってきて思うことは、六十五歳を過ぎてもドックなどで「異常なし」のはずはなく、何か少し異常

があつてホツとするのが普通だと思います。そしてそれと仲良くするのがコツであり、結果ばかりを気にせず日常生活を楽しくするための健康管理をしてほしいと思います。

体力づくりというとジョギング、ゴルフ、ゲートボールなどのイメージがありますが、掃除、洗濯、食事を作る事も立派な体力づくりです。特に食事を作る事はボケ防止につながりますので「ちよつとボケてきたかな？」と思われる人には食事づくりを進めてください。そしてできれば一日十分、ラジオ体操や歩いたりするだけで、体に良いという事を覚えておいてください。

最後に東由利町出身者としていつも思うことは、この町は過疎ではなく変化しているのだということ、クリーンな環境を生かして発想の転換をしてほしいと思います。あとで日本地図を見てください。東由利は、東北のど真ん中です。例えばこんな発想も良いのではないのでしょうか。



コーディネーター 佐藤達夫氏

地域は死なない

私は農業を基幹産業とする町でも第

二次産業は必要であり、一層の振興が必要だと考えます。ただし、一つの企業を重視するような「企業城下町」的な発想はやめるべきです。多種、多様な産業の振興が求められる時期にきていると思います。そして最後に高齢化、過疎化が進んでも地域は絶対に死にません。そこに住んでいる方々の意気込みでどうにもなるという事を忘れてないでください。

5氏の功労を讃える 平成4年町功労者表彰式



平成四年町功労者表彰式

平成四年町功労者表彰式及び自治功労章贈呈式が十月二十八日、関係者百人が出席して有鄰館で行われました。

当日は、本町袖山出身で秋田市在住の前東由利町長の畠山亮二郎氏、元議会議長の小松豊氏、前選挙管理委員長の工藤武雄氏、本町小倉出身で東京都在住の東京農工大教授の遠藤章氏の四氏に町功労章が、前町議会議長の小野要造氏、元町議

議長の小松豊氏に自治功労章が、それぞれ阿部町長から贈られました。(受賞者は本紙十一月号で紹介させていただきます)

式典では阿部町長が、受賞者のこれまでのご活躍に感謝と敬意を表し、式辞を述べた後、受賞者の方々を支えてくれたご夫人にミス黄桜の小野佳子さんから花束が贈呈されました。続いて受賞者全員が受賞の喜びなどを述べました。

このあと祝賀会が行われ、出席者らは受賞者を祝福すると共に、町発展のための意見交換などをしていました。



町社会福祉大会

午後からの社会福祉大会ではまず最初に、長年にわたり東由利町の社会福祉事業の推進に貢献された故人二人を含む六人に阿部町長から表彰状が、長年にわたり在宅介護に当たられた三人に梅津町社会福祉協議会長から善行賞がそれぞれ贈られました。

引き続き、阿部町長が「長寿社会を共に寿ぐ町づくりを重点課題の一つに掲げており、誰でもお年寄りになる訳だから、その時のために学習し、将来に向かって考えましょう」とあいさつ。また梅津町社会福祉協議会長は「たく

さんの町民とご来賓をお迎えして、盛大にこの大会を行うことができました。福祉サービスも年々充実しており、これからも町と力を合わせて頑張っていきたいと思えます」とあいさつしました。

その後阿部町議会議長ら三人の方々から祝辞をいただき、最後に町交通安全母の会の横山福子代表が「高齢者の健康を守り安心して就労できる地域づくりにつとめる」など五つを宣言し閉会しました。

引き続き行われた青空一夜さんの記念講演では「今のお年寄りがいたからこそ、大きな戦争を乗り越え平和な現代があります。子や孫達に自分の住んでいる東由利町の良さを教えて、いつまでも健康で長生きしてください」とお年寄りを励ましていました。

社会福祉大会

六氏に表彰状贈呈

高齢者の健康と安全誓う

臨時議会

佐川急便問題

などへの

意見書を採択

第九回議会臨時会が十一月十六日に招集され、補正予算などの三議案を原案どおり可決したほか、佐川急便問題などへの意見書を採択しました。

▼歩道用除雪機の購入を可決

歩道用の除雪機(ロータリー)を、一千八百四十四万七千三百円で東北川重建機株式会社秋田営業所と契約することに同意しました。

▼一般会計に災害復旧費などを追加

平成四年度一般会計に融雪災害の河川十五カ所の復旧費八千七百七十五万円など一億五千八百八十五万七千円を追加し、総額三十九億一千三百六十八万九千円としました。

▼国保特別会計に葬祭費を追加

平成四年度国民健康保険事業勘定特別会計に百万円の葬祭費を追加し、総額四億六千八百七万三千円としました。

▼中央政界の不祥事に意見書

中央政界の一連の不祥事に対しての意見書として「政治倫理の確立と政治改革の推進に関する意見書」を内閣総理大臣などに提出することを採択しました。

進藤前教育長に勲五等双光旭日章



進藤 新 氏

秋の叙勲で、前教育長で町功労者の進藤新氏（本荘市在住・七六歳）が勲五等双光旭日章の栄誉を受けられました。

進藤氏は、昭和五十二年に町教育委員に就任以来、教育長として八年町教育行政を担当し、特に小学校の統合と教育施設の充実に多大の貢献をなされました。また町教育研究所を創設し教職員の資質の向上に務められたほか、青少年健全育成活動など本町の教育振興、充実に寄与されました。

賞事知県に人精

賞も併せて受賞

県種苗交換会

第百十五回県種苗交換会が十月三十日から十一月五日までの七日間、鷹巣町で開催され、本町の佐々木精人さん（大琴）のバラ（品種・メロディ）が切花の部で県知事賞を受賞、併せて複合経営確立に向けた作物を対象とした秋田魁新報社賞を受賞しました。



県知事賞を受賞した

佐々木精人さん（写真右）

んは「今までで一番自信があったが、このような賞をもらえるとは思わなかった」と受賞の喜びを語ってくれました。ばらを作って四年目、二棟のハウスには一万本、六種類のバラが栽培されています。

なお、種苗交換会の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

◆二等賞

【葉たばこ】遠藤五郎（館合新田）、小松安男（田代）【栗】佐藤栗園（新沢）

◆三等賞

【栗】佐藤盛永（新沢）、佐藤栗園（新沢）【すぎ苗3年生】大庭要（舟木）

◆県産米品評会（種苗交換会協賛）

【優良賞】小野武（須郷田）

努力の成果 いま実る

畑山前農委に功労賞



畑山一郎 さん

第三十六回秋田県農業委員大会が十月三十一日、鷹巣町で開かれ畑山一郎

氏（館合新田）が農業委員会委員長功労者として県農業会議会長表彰を受賞しました。

畑山氏は昭和五十八年に農業委員に初当選以来連続三期、同委員を務められ平成元年からは農業振興部会長として後継者育成などで活躍されました。

が佳作にそれぞれ入選しています。

畑山国年委員に表彰状



畑山賢次郎 さん

円佳くん（八塩小）の作文が金賞



小松円佳 くん

国民年金作文コンクールで八塩小六年生の小松円佳くんが応募総数八十五点の中から「国民年金について」と題した作文で金賞を受賞しました。

また、同小の嶽石文悟くん（五年）が銀賞、柴田和佳子さん（六年）、菊地和紀くん（六年）、佐藤郁絵さん（五年）、小松田達也くん（六年）

また、横渡自治会国民年金委員の畑山賢次郎さんが、優良国民年金委員として県国民年金協議会から表彰されました。畑山さんは昭和六十一年四月から同委員に就任以来、保険料の納付の推進や、相談など年金制度の啓蒙、普及に尽力され組織の充実や年金業務の伸長、発展に尽くされています。

高橋・阿部両氏に県知事賞



高橋典三 さん



阿部久孝 さん

平成四年度秋田県統計功労者表彰式が十月二十九日、県庁で行われ本町の高橋典三氏（久保）と阿部久孝氏（蔵新田）が県知事賞を受賞しました。高橋氏と阿部氏は昭和四十五年から平成二年にわたり、通算五回の国勢調査などの調査員として活躍されました。両氏とも統計調査の啓蒙普及活動に積極的に寄与されています。

明るく元気の出る 町づくりのために

道路が整備されて通学も安心

“明るく元気の出る町づくり”の基
本である道路整備は年々改良、舗装が
進み、便利になりました。道路が広く
なり、歩道整備も進みドライバーも子
供たちも安心して通勤、通学ができま
す。

今年、この道路整備がどれほど進
んだのでしょうか。

毎年この時期にお知らせしています
が、今年も由利土木事務所と町建設課
から聞いてみました。



△国道▽

舟木・畑村間が14日に供用開始

町の大動脈国道一〇
七号は、整備計画延長
が宿本荘市山内まで
の六千二百十メートルで、本
町側が四千八百六十五
メートル、本荘市側が千二百五
十メートルです。

今年、舟木・畑村
までの千十メートルが今月十
四日から供用開始され
る事になりました。ま
た本荘市側の一号トン
ネルも中間点を突破し、



供用開始される舟木・畑村間

来春の貫通、平成六年度の完成を目指
して順調に工事が進められています。
また、懸案の国道一〇七号久保・板
戸間は早期に整備するよう要望中です。

△県道▽

須郷田地内の舗装が完了

町内には六路線の県道があり、矢島、
羽後、雄物川、大森、大内の各町と結
ばれています。このうち、県道山崎鴻
屋十文字線の一部が国道に昇格する事
になり、来年四月一日からは国道三九
八号になります。

今年度整備が進められているのは矢
島町と本町を結ぶ県道仁賀保矢島館合
線で、須郷田から滝ノ沢までの工事が

進められています。須郷田地内の五百
八十メートルは舗装が完成し、今年中には供
用開始されます。また須郷田から堀切
橋までの七百五十メートルは、三月いっぱい
で改良、舗装が完成する予定です。

同堀切橋から国道一〇七号までのパ
イパス新設工事は測量作業が進められ
ています。

このほか、羽後向田館合線の向田地

平成4年道路整備状況

◎町道・農道

(11月末現在)

路線名	施工地区	距離	内容	進捗状況 (%)
若林	若林	217m	舗装、法面保護 A=3.173m ²	100
若林2期	〃	280m	改良	100
鞍骨2期	十二ヶ台	改良 L=240m 舗装 L=157m		70
杉森	杉森	付帯工一式		100
湯出野	湯出野	316m	舗装	100
宿	宿	372m	舗装	70
アクト	アクト	付帯工一式		40
鳥居坂	鳥居坂	309m	土工	100
ザッコ又	高村	改良 L=290m 舗装 L=337m		100
向田	向田	205m	舗装	100
仲ノ沢	仲ノ沢	88m	改良、土工一式	100
高屋	高屋	260m	改良	100
須郷田跡見坂	館合新田	1,375m	舗装	90
島宮	宮ノ前	429m	改良	80
大谷地	大台	1,663m	舗装	100
上里	上里	101m	舗装	100
赤倉	赤倉	158m	舗装	100
八塩	八塩	100m	改良、舗装	100
八日町	八日町	227m	舗装	100
善徳	善徳	540m	改良	50
大下2号	杉森	160m	改良	10
十二ノ前2号	十二ノ前	139m	改良	5

◎林道

路線名	施工地区	距離	内容	進捗状況 (%)
八塩1号	八塩	832m	改良	90
松の沢	野田	643m	改良	90
寺山	寺山	320m	改良	90

順調に工事が進む仁賀保矢鳥館合線



内の改良は発注済、楢瀬横渡線の黒沢トンネル出口の局部改良は、用地買収を行っています。

◇◇町道等◇◇

須郷田跡見坂線は年内の完成

町道や農道、林道の整備は今年、別掲の「道路整備状況」に示したように三十五カ所で行われ、十一月末までに十四カ所完成しました。

町道で今年最大の工事は須郷田〜館合新田間の須郷田跡見坂線で、館合新田地内の四百四十は七月中に完成、館合新田から須郷田までの八百七十四が十一月二十一日に供用開始され、年内には完成する予定です。

このほか、大台

11月21日の須郷田跡見坂線開通式



地内の大谷地線は千六百六十三が舗装され完成、宮ノ前と新処を結ぶ鞍骨線は二百四十メートルを改良し、一部舗装にとりかかりました。林道は三路線を整備し、おおむね順

道路三三知識

道路にもランクはあるの？

道路を大きく分類すると国道、県道、町道等に分かれます。この中で私たちの生活に直接関係のある町道は一級町道、二級町道、その他の町道に分類されます。

一級町道とは、戸数五十戸以上の集落、主要な公共施設、国道、県道などを連絡する道路で本町の場合、須郷田跡見坂線など十路線となっています。二級町道とは一級町道以上の道路を補完し、戸数二十五戸以上の集落、主要な公共施設、国道、県道、一級町道などを連絡する道路で本町の場合、宿、袖山地区と館合地区を結ぶ坪倉線など十二路線となっています。

また、国道は二ヶ台までが「国」の管轄、三ヶ台以上が「県」の管轄になります。県道は主要地方道、一般県道に分類され、本町の六本の県道のうち、一般県道は楢瀬横渡線だけで、その他の五本は主要地方道となっています。

調に進められています。また、大森町と本町を結ぶ林道矢走線は完成しました。以上、今年の道路整備状況をお知らせしましたが、今年はおおむね順調に推移しています。



屋根付) 建設に着手 (11月号)



待望の八塩小グラウンド
完成 (9月号)



少数激戦の町議会議員選挙
開票所にはたくさんの参観者 (8月号)

今年はいんな年でした

平成四年も残すところあと一カ月となり、広報から今年一年の話題を拾いだしてみました。
今年一年を振り返り、明るい新年をお迎えてください。

1

6・消防出初式→270人参加、74人を表彰 (健康増進センター)

2

8~9・大平雪まつり→1,500人入場 (大平スキー場)

16・婦人シンポジウム→270人参加 (有隣館)

23・第3回家庭バレーボール交流大会 (健康増進センター) 優勝・マルサカソーイング

23・第5回町民綱引き大会 (健康増進センター) 男子優勝・役場除雪隊、女子優勝・蔵スーパーレディース

3

1・第1回秋田県選抜雪上野球東由利大会→8チーム参加 (勤労者野球場)

8・バレーボールクラブリーグ戦 (健康増進センター) 優勝・秋田ルビコン

22・第1回バスケットボール大会 (健康増進センター) 男子優勝・あきたこまち、女子優勝・石高コロコロママさんクラブ

23・町農業近代化ゼミナール「ゼミバス」解体

25・国の道路審議会でも県道山崎鴻屋十文字線国道昇格決定 (5年4月1日から)

4

1・小松正昭収入役就任

21・農業委員10人無投票当選

5

6・農業委員会長に鈴木和夫氏就任

7・全県全日制分校軟式野球大会で下郷分校優勝 (鳥海町・上原球場)

9~10・黄桜まつり→12,000人入場

17・東京東由利会30周年記念式典→170人参加 (東京都江戸川区)

28・宮ノ前遺跡の発掘調査開始

6

5・市場上場1,000頭まつり→400人が参加 (八塩いこの森)

17~19・敬老会→407人が出席し新しい福祉バスで送迎 (有隣館)

27・町商工会30周年記念式典→120人参加 (有隣館)

30・第37回町畜産共進会→出陳牛65頭がすべて入賞 (畜産広場)

7

6・八塩小プール開き→昨年度完成のFRP製で温水シャワーを設備

12・町議会議員選挙→定数が18人から16人に減る。新人3人が当選

18~21・韓国青年教師団16名が本町にホームステイ

19・町消防訓練大会 (町民グラウンド)

20・郡畜産共進会で2年ぶり3度目の総合優勝

24・町議会→議長に阿部剛氏、副議長に長沼久男氏就任

26・第16回参議院議員通常選挙→投票率67.4% (合併後二番目の低さ)

28・八塩小グラウンド完成

8

- 1・東光苑夏まつり→史上最高の人手を記録
- 5・郡市消防訓練大会で9年ぶり2回目の総合優勝
- 5・第1回ナイターリーグ戦→ポパイスポーツクラブが初優勝
- 14・ふるさと交流野球・ソフト大会→30人参加（勤労者野球場）
- 15・町成人式→71人が大人の仲間入り（有鄰館）
- 23・第6回町民ゲートボール大会→下通Cが初優勝（町民グラウンド）
- 30・第24回町民運動会→暑さにもまげずみんなハッスル（町民グラウンド）

9

- 7・交通死亡事故ゼロ1,000日達成
- 8・交通安全町民大会→600人参加（健康増進センター）
- 13・チャリティー民謡の祭典→1,000人入場（健康増進センター）
- 20・第34回社会人野球大会→ポパイスポーツクラブが初優勝、ナイターリーグとダブル制覇（勤労者野球場）
- 28・全天候型多目的運動広場（屋根付）起工式
- 29・選挙管理委員長に大庭喜右衛門氏

10

- 1・教育委員長に小松順之助氏
- 3～4・郡市小学校バスケットボール大会で八塩小女子優勝、同男子準優勝、全県大会にアベック出場
- 10・レッツプレイ卓球→松崎キミ代さん（卓球元世界チャンピオン）と交流（健康増進センター）
- 10・町体育協会20周年記念式典→80人参加（有鄰館）
- 15・矢走林道が完成→開通式（大森町坂部）、祝賀会（有鄰館）
- 19・町営住宅起工式
- 28・町功労者表彰式→5氏を表彰（有鄰館）
- 31～1・町産業文化祭→3,500人入場（台山地区）

11

- 4・東由利中寄宿舍入舎式
- 10・大琴小大台冬季分校開校式
- 11・町社会福祉大会（高齢化社会の生きがいフォーラム）→350人参加（有鄰館）
- 18・八塩小創立10周年記念式典



山崎鴻屋十文字線国道昇格決定（5月号）



全天候型多目的運動

卓球元世界チャンピオンの松崎さんと交流（11月号）



400人が参加した1,000頭まつり（7月号）

韓国青年教師団が来町（8月号）



東京東由利会が30年（6月号）

第六回産業文化祭 雨もようで入場者減



三千五百人が入場した産業文化祭

第六回産業文化祭が十月三十一日、十一月一日の二日間、健康増進センターを主会場に行われました。今年は一週間ともあいにくの雨模様で、入場者は昨年より千五百人少ない三千五百人にとどまりました。



未来の消防官

人権擁護委員は私たちです

「社会で幸福な生活を営むことができる権利」を守るために人権擁護

委員がいます。

任期満了により、佐藤恒悦さん（館



佐藤恒悦さん



笹本信也さん



小松幸子さん

地区音楽祭



せいさくコーナー

老人作品展

入賞者一覧（敬称略）

《一般展示物・町長賞》

〔畑作物〕・嶽石アヤ子（山崎）〔農産加工〕・阿部コシ（横渡）〔果実〕・小松茂（新町）〔工芸品〕・遠藤タカ子（新処）〔花き〕・佐々木精人（大琴）〔葉たばこ〕・小松久子（館合新田）〔山菜料理〕・上通婦人部

《発明工夫展》

〔町長賞〕・八塩小学校（学校賞）〔県知事賞〕・高橋奈津美（八塩三）〔発明協会県支部長賞〕・鈴木奈保子（八塩六）・小野智秋（高瀬二）〔金賞受賞者〕・佐々木晃子（大琴六）・鈴木正樹（八塩四）・小野祐一（八塩三）・阿部泉（高瀬六）・高橋定征（八塩四）・高橋由佳里（八塩六）・小松幹夫（高瀬三）・横山志和子（八塩六）・横山雅弥（八塩六）・阿部奈央子（高瀬二）・小松晶子（高瀬一）・佐藤明美（八塩四）

西）、笹本信也さん（蔵）、小松幸子さん（新町）が十一月十五日に法務大臣から委嘱され、新しく人権擁護委員に就任しました。いじめ、土地・建物登記、戸籍など生活に関連した悩みの解決のため相談に乗ってくれる事になっています。

お気軽にご相談ください。

戸籍手数料が変わります

—平成5年1月1日から—

申請内容	改定額	現行
①戸籍の謄抄本	1通 400円	300円
②除籍の謄抄本	1通 700円	500円
③戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 300円	200円

ことぶき大学だより



黒瀨福寿会
長谷山直助さん
(82歳)

人間は年をとると世の中から問われることが多くなって、何でもひろく世

まちのたからもの⑦ 信仰としての念仏碑



上舟木にある念仏碑

石神を祀って家や村、道行く人々を守ってもらいたいとの信仰は昔からありました。

写真は、上舟木の国道端にある「念仏二百万遍供養塔・湯殿山鳥海山・庚申塔・日待塔」の四つです。念仏塔には「天保十二年（一八四一）願行満日・行者久兵衛・長五良」と彫っています。部落の人達が悲しみやつらいことせつないことなどさまざま願いを込め、一つ心になって二百万回も唱え、達成した喜びと感謝、信心を表わす塔でしょう。

明治二十年代の道路普請によって、四つの碑を現在地にうつしたのだようです。

の中の事を知っていなければならなりません。しかしこれとは反対に、年をとると段々知っていたことを忘れやすくなってしまいます。このため何でも機会をみて勉強するように心がけ、ことぶき大学に通っています。

しながら、毎日を過ごしています。連合会の会長を務めて六年になりますが、郡や県の会議や研修に出ると友達も増え、楽しい事もたくさんあります。特に各市町村の会長さんたちとの県外研修は毎年よい思い出になっています。

保健婦のヘルシートーク

高血圧予防は食生活で

寒い季節の到来、あなたの血圧は大丈夫でしょうか？

高血圧はそれ自体、痛くもかゆくもない病気です。自覚症状もほとんどなく日常生活への支障もないことから、つい軽く見られがちです。しかし、治療を受けずそのまま放置しておくと、動脈硬化を促進し、じわじわ血管を傷めつけ、心臓病や脳卒中など成人病を

発症させる引き金となります。

そこで、食塩のとりすぎと肥満は、高血圧にとって最大の敵であることを改めて認識しましょう。いったん高血圧になったら、生涯にわたって高血圧を管理し、コントロールしていかなければなりません。

そのためには、食生活の基本は減塩と肥満解消の二つにつきるといっても過言ではありません。ここで今ひとつ毎日の食生活をふり返る機会にしてほしいものです。（保健婦 小松友子）

若さの爆発

東由利クリッパーズ

わが東由利町バスケットボールクラブは会員十二名、「東由利クリッパーズ」で頑張っています。クリッパーズとは、アメリカプロバスケットボールチームにもありますが、どうせバスケットをやるからにはうまくなりたいと思いい名前をつけました。平均年齢が二十二〜二十三歳と若さが一番の武器です。毎週木曜日に健康増進センターで練習をしています。



東由利クリッパーズ

この間の練習から町体育協会の協力もあり、いすゞ自動車バスケットボールチームのコーチを招いて、「特訓」などもしています。郡大会で数回ベスト四まではいっているもののその壁を破るよう頑張っています。またわれわれの目標は屋外コートを作ってもらい、「ストリートバスケットボール」の大会を行うこと。町でも考えてほしいと思います。汗をかいたあとの「一杯のビール」がたまらなくおいしいです。暇をもちあましている方、練習に参加してさわやかな汗を流してみませんか。（上里・小野進）

公民館の図書室

☆新刊購入の図書を紹介いたします。

- ▼北の国から、92 菓立ち（理論社）
 - ▼ひめゆりたちの祈り（朝日新聞社）
 - ▼家族の樹（文藝春秋）
 - ▼あきらめない人生（小学館）
 - ▼世界の中心の日本（中央公論社）
 - ▼ママどうしてあんなに勉強しなくちゃいけないの（集英社）
 - ▼四十代の男たちへ（ぱる出版）
 - ▼生きぬくことは冒険だよ（集英社）
 - ▼地球を救うかんたんな五〇の方法（講談社）
 - ▼自然大博物館（小学館）
 - ▼図鑑（学研）
 - ▼あいさつ絵本（理論社）
 - ▼まんが世界ふしぎ物語十巻（理論社）
 - ▼きょうりゅうたんけん隊（理論社）
- どうぞ、ご利用ください——



（公民館）

トピックス

あんなこと～まちのわだい～こんなこと



八塩小が十回目の誕生日

昭和五十八年に玉米小と住吉小が合併して八塩小が誕生し今年が記念すべき十周年。これを祝う記念式典が十一月十八日、同小体育館で行われました。

式典には町、教育委員会、議会議員、地元自治会長など関係者百十人余りが出席。最初に実行委員長佐藤知泰同小PTA会長が「昭和五十七年に合併して今年で十周年を迎えることができました。この節目に八塩小で勉強できることを幸せに思い、自分の夢を実現するために一生懸命頑張りました」とあいさつ。引き続き宮澤隆同小校長が「やさしく、かしこく、おもしろく、合言葉のようにこれからも先輩が築き上げてきた伝統に感謝し、楽しい学校生活にしましょう」と式辞を述べました。

その後、阿部町長、長沼副議長、小松教育委員長が祝辞を述べ、最後に同小百五十四名の児童を代表して、六年生の遠藤千春さんが「今年がバスケットボールで県大会にアベック出場できます。新しいプール、グラウンドもで



元気に校歌を歌う児童

きました。このすばらしい環境を築き上げてくれた先輩方に感謝し、今度は私たちがすばらしい八塩小になるように頑張っていきたい」とあいさつしました。

第二部のアトラクションでは五、六年生が「風の谷のナウシカ」の合唱と「コンドルは飛んでいく」の演奏、全校生徒で「となりのトトロ」を合唱、最後に「パパさんママさんコーラス」の「もみじ」と小松耕輔作曲の「お山の細道」の合唱が披露されました。

午後一時三十分からは有鄰館で記念祝賀会が行われ、心ゆくまで「八塩小の十回目の誕生日」を楽しんでいました。

パパさんママさんコーラス



生き生き活動が評価 公民館が文部大臣表彰



喜びの渡辺公民館長(右)と小松係長(左)

青少年の地域活動を核とした生涯学習の町づくりが評価され十一月二日、公民館が文部大臣から表彰されました。この表彰は全国で三十七公民館が受賞対象になりました。

表彰式は文部省で行われ渡辺公民館長と小松係長が出席、文部省事務次官から表彰状と記念の盾が授与されました。その後皇居で天皇、皇后両陛下にお目にかかりました。

公民館では生涯学習の町づくりを目指し、生き生きとした地域活動を展開しています。町内の地層などを調べる「青少年科学活動」をはじめ小学生を対象にした「少年宿泊交流の集い」「少年自然教室」や「高校生ボランティアスクール」「二十歳の集い」「青年国内研修」などを実施しており、その意欲的な取り組みが評価されたものです。

フレッシュ教室で リフレッシュ!



30人が参加したフレッシュ教室

くらしの中に運動をテーマに、町では「フレッシュ教室」を行っています。

これは、日頃運動する機会が減っている人々に運動の大切さ、楽しさを再認識してもらおうと年間五回にわたり教室を行うものです。

今年度第一回目の教室は十一月九日、健康増進センターで約三十人が出席して行われました。まず最初に町保健婦から事業計画などの説明があり、引き続き中西町民課長が「最近の仕事や家事などで運動不足の生活が続いている人も多いと思います。これを機会に運動の楽しさを満喫してください」とあいさつ。その後会員たちは八塩ダムにかけ、散策路などを散歩。好天に恵まれた事もあり、紅葉を眺めながら散歩を楽しんでいました。

町では今後月一回のペースで教室を開き、講話や調理実習、室内ゲームなどを行うことにしています。

6人で楽しい生活を

大台冬季分校が開校

大琴小大台冬季分校開校式が十一月十日、同分校の体育館で行われました。今季は、大台地区の子供たちのほか本荘市三ツ方森から二人が通っており、一年生一人、二年生二人、四年生二人、六年生一人の計六人です。

開校式では全員で大台分校歌を斉唱した後、鈴木大琴小校長が「ベテランの先生と若手の先生二人でみなさんと勉強することになりました。たくさん勉強を学んで、楽しい分校にしてください」とあいさつ。その後児童を代表して六年生の木島さとみさんが「寒さに負けず、六人仲良く楽しい生活をしていきます」と誓いの言葉を述べました。分校での生活は十一月十七日から三月いっぱい続けられます。



大台分校の開校を喜ぶ

野球場に黄桜を植樹

商工会30周年記念事業

町商工会では創立三十周年を記念して十一月十二日、町の花「黄桜」と八重桜を勤労者野球場の周りに植樹しました。



27本の桜を植樹

当日は雲り空のあいにくの天気になりましたが、予定していた二十七本を植えることができませんでした。最後に阿部町長、阿部議会議長、大沼商工会長が木に土をかけ

て植樹を祝いました。実行委員長の佐藤達男さんは「春になればみんなが楽しむ事ができると思います。傷つけないように大切に育てていきたいものです」と話してくれました。

松山さんと楽しい音楽会

松山さんに花束を贈呈



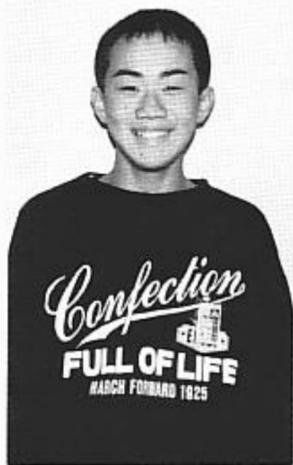
東由利をおもしろくする会（小野克弘代表）は今年二回目の「おもしろ音楽会」を十一月十二日、有隣館で開催し五十人余りの人でにぎわいました。今回のゲストは自称「うたうたい」の歌手松山隆宏さん。ギター片手に全国各地を回っている人で、本町を訪れるのは初めて。ほとんどが自分のオリジナルの曲で、生活をそのまま歌にしたようなものが多く、参加者も身近に感じたようでした。

大琴小の晃くん郡市健康優良児に

大琴小学校六年の畑山晃くんが平成四年度郡市健康優良児

に選ばれました。

この審査は体格のみならず面接と運動能力、内科検診など細かい審査があり、これを見事にクリアし心身共に優



畑山 晃くん

れた児童として選ばれたものです。

晃くんは、「選ばれてとてもうれしいです。将来の夢はプロバスケットボールの選手になることです」と話してくれました。

フレッシュリレー

高橋 勝敏さん(19歳)

館合新田・大内TDK(大内町)勤務



三交替で仕事も遊びも一生懸命な勝敏さん。夜勤明けの彼を起こしてインタビュー。
 ☆仕事の内容を教えてください
 テレビにはかかせないSLCフィルターという物を作っています。
 ☆趣味は何ですか
 友達とドライブに行ったり、カラオケに行ったりするのが好きです。
 ☆東由利町をどう思いますか

自然の豊かな平和な町だと思います。最近道路も整備されて通勤も便利になったのではないのでしょうか。
 ☆今一番やってみたい事
 中学の時からやっていないスキーを始めようと思っています。
 ☆好きな女性のタイプは
 一緒にいて安心できる人。そしてかわいい人が好きです。
 ☆自己PRをどうぞ
 運番が終わってからのストレス解消のために、ボーリングやドライブに行ったり、たまにパチンコに行ったりしています。何よりも遊ぶ事とラーメンが大好きです。
 ☆次の人は誰かな
 同級生で、幼なじみの高橋剛くん。来月号は君にバトンタッチ。

新婚さん こんにちは

須郷田 小野 久一さん
節子さん



二人は高校からの知り合いで、彼は野球部、彼女はバレー部とスポーツが大好きな二人。
 小野家では小作地も含めて六畝の水田を耕作しており、久一さんは期待の農業後継者。
 節子さんは最近「牛」とご対面したらしく「こわかった」と一言。「いつでも友達が来やすい家庭にしたい。遊びに来てください」と笑顔いっぱい二人。
 最後に「出稼ぎに行っているお父さん、体につけて元気で頑張ってください」と二人から暖かいメッセージ。
 お幸せに

わたしの 赤ちゃん

(山崎 工藤 清さん)
(文子さんご夫婦の長男)
ひろき 大貴ちゃん



昭和九年以来の男の誕生に工藤家はにぎやかな毎日。家族で相談して名前を決めたとの事。手足をバタバタ動かして毛布を飛ばしてしまうこともある。元気な大貴ちゃん。「名前まけないように、大きくなって丈夫な男の子に育ってほしい」とお母さんの文子さんが話してくれました。

東由利の文芸

せせらぎ句会(十一月句会)

- ◆ 初冠雪裾に錦をまといけり
- ◆ 宿題や親子と共に夜の長しく
- ◆ 水澄みて光を底に沈めけり
- ◆ まどろみの夢も荒びし虎落笛
- ◆ 下校の児笑顔をぬらす庁時雨
- ◆ 小春空売らるる仔牛声つなぐ
- ◆ 雪の坂上る御嶽の荒みこし
- ◆ 黄落や一夜の友とわらじ脱ぐ
- ◆ 蕪茶漬無沙汰の顔をのぞき合う
- ◆ 人住まぬ垣根彩る葛紅葉
- ◆ 脱穀音はたと止みたり峡の昼
- ◆ 残り柿照らして短日暮れにけり
- ◆ 短日や部落の灯が見え山下る
- ◆ 猿酒か舐めて笑えり茸山
- ◆ 高稲架や本家も分家もかく去るる
- 小松順之助(中通)
- 小松慶治郎(高戸屋)
- 鈴木 要(沼)
- 高橋ひで子(横渡)
- 阿部 澄子(蔵)
- 小笠原亮子(蔵新田)
- 佐藤 正義(湯出野)
- 遠藤トミ子(小倉)
- 小野 貞子(蔵新田)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小松 メサ(下小路)
- 小松 徳蔵(湯出野)
- 菊地 常作(湯出野)
- 鈴木 徳蔵(舟木)
- 小松 徳蔵(湯出野)

ハイスクール 日記

陽光と金メダル

第10回下郷分校強歩大会



小野 隼人
くん

ぼくの夢は、競馬の騎手（ジョッキー）になって、さつき賞、ダービー、菊花賞、天皇賞など



鈴木小百合
さん

私の夢は、民謡歌手になることです。なぜかという祖母がとても民謡好きなので、私の歌

ぼくの夢 わたしの夢 (大琴小六年)

のいろいろなレースに勝つことです。騎手になりたいと思っただ理由は、まず一つには一度馬に乗ったことがあり、その時にとっても高く、気持ち良かったというのと、もう一つには人間の二倍のスピードで走ることでできるサラブレッドを自分の技

術でより速く走らせたいたからです。騎手になるためにはいろいろな条件があり、体重を四十五〜五十五キログラムに保たなければいけないので減量にとっても苦しむことも知っています。この夢がいつか実現すればいいなあと思います。

う民謡を聞かせてあげたいからです。また、以前に私の知っている人が民謡大会に出て、自分の好きな歌を思いっきり歌っているのをとてもうらやましかったからです。もし、うまく民謡歌手になることができたなら浅野和子さんのようなすばらしい歌

手になりたいものです。そして、この東由利町でコンサートを開き、この町の人達にも民謡の良さを伝えたいです。みんな「秋田おんど」を歌ってみたいなあ。いろいろな人達に喜んでもらえるような歌手になれるように今から発声練習をがんばりたいです。



下郷分校
1年J組
遠藤由美子さん

記念すべき第十回強歩大会が十月二十八日、秋晴の空の下で行なわれました。男子二十二歳女子十八歳の距離で、九時四十分スタート。

第一関門黒沢通過。急な上り坂の多い道を、元気だからというより負けずぎらいな性格から、後者の接近を許さず、「疲れた、もう嫌だ、座りたいよ！」など心では叫びながらも、足は少しも休まず、先導車と一緒に走った友達に追いつき、追い越し、

トップで第二関門大台を通過。第三関門舟打場までは長く、疲れてぶらぶら歩きました。紅葉の山々を見渡しながら、東由利町の豊かな自然の懐に抱かれた思いでした。時々うしろを見ると友達が微笑み返します。第三関門もトップで通過。そこからは足も痛いし、疲れもでたしで、友達と話をしながら、早歩きをしたり、時々走ったりして、最後の力を振り絞って、第一位でゴールイン！表彰式の時に教頭先生から首に掛けていただいた金メダルはずっしりと重くて、苦労や苦痛に耐えて得るものの貴重さを実感しました。

★★みどり保育園★★

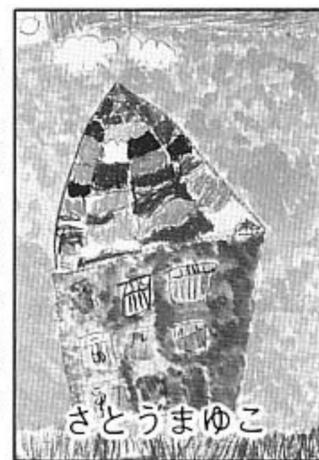


しょうのさえこ

(後列右からまゆこちゃん・
菫沢 さえこちゃん・五海保)

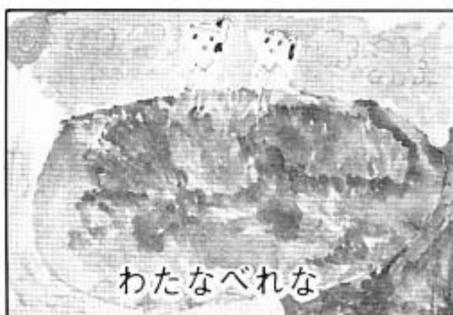


(前列右からめぐみちゃん・
石高 はるきくん・館合新田
れなちゃん・時雨山)

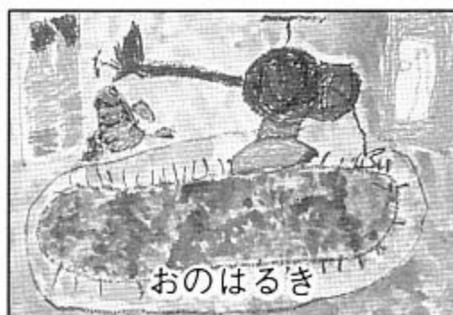


さとうまゆこ

おおきなおいもをほったなら...



わたなべれな



おのはるき



はせやまめぐみ

12月 <10/1~10/31> 町のミニ統計

人口 ()は前月比

- 男…………… 2,757人(△17)
- 女…………… 2,910人(△6)
- 計…………… 5,667人(△23)
- 世帯数…………… 1,417戸()

()は1月からの累計

- 出生…0人(34) ●死亡…13人(55)
- 転入…7人(95) ●転出…17人(149)

- 火災出動……………0件(2)
- 救急出動……………10件(92)
- 交通事故……………2件(8)
 - 死者……………0人(0)
 - 傷者……………5人(13)
- 飲酒運転……………0人(0)
- 酒気帯び……………1人(4)

11月19日をもって、交通死亡事故ゼロ1072日でストップ

郷土の野草

東由利

No.94 カキラン

(ラン科) 文・写真 小松忠正



日本、朝鮮、中国にも分布する多年草で、本町にも群生しているのを見かけます。日当たりのよい草原や、やや湿り気のある林のへりなどを好み、茎は二十センチ〜七十センチほどになり、下のほうは紫色を帯びるのが普通です。葉は十枚ぐらゐる茎の中ほどから互生します。卵状披針形で、上部の葉えきから花枝をのぼし、八月の初めごろから橙黄色の可憐な美花を総状花序につけます。和名は柿蘭で、花の色がカキに似ているのでいいいます。これも保護したい植物の一つです。

私の好きな



サスラン



春に咲く「サスラン」が秋に咲くとは珍しく、思わず一枚。

(撮影・伊東政太郎さん・横渡)

戸籍の窓口

(10/21~11/20届出・敬称略)

●お誕生おめでとう

工藤大貴ちゃん(清文子) 長男・山崎

●ご結婚おめでとう

島山俊明さん	寺田
木村りり子さん	西目町
佐々木幸浩さん	大琴
鷹谷真貴子さん	本莊市
渡辺清美さん	向田
伊東鈴子さん	高村
千藤悦さん	黒沢
大野晴美さん	岩城町
小野久一さん	須郷田
田口節子さん	本莊市

●ごめい福をお祈りいたします

高橋 五助さん(74・トミ・夫)久保

齊藤チヨコさん(75・康勝・母)東光苑

鈴木 徳藏さん(84・憲雄・父)舟木

加藤 清さん(72・清一・父)湯出野

島山 道代さん(72・富一・母)下通

12

町民カレンダー

DECEMBER

11	4
11	10
20	11
16	20

人権週間
ことぶき大学
年末の交通安全県民
総ぐるみ運動
議会定例会
高橋宏幸賞表彰式

今月は固定資産税
四期の納期です。
12日と26日の土曜
日は役場が休みで
す。

「まごころ」

町社会福祉協議会に、木島憲悦さん(蔵新田)、齊藤康勝さん(蔵)、加藤清一さん(湯出野)からご芳志が届けられました。また、東光苑に東由利中生徒会から日頃お世話になつておられるお札に金一封が届けられました。ありがとうございました。

ほっといさよ、今月で今年も終わりですね。という事は「忘年会」のシーズンです。ストレス解消と今年一年の嫌なことを全部忘れて、お酒を飲んでドンチャンさわぎ。ここで注意したいことーそれは交通事故。今月は飲酒運転追放強調月間とか。飲んでから「ちよっとそこまで」と車を運転したりしてはだめですよ。それから飲んでから歩いて帰る人、雪道で滑ったり、フラフラ歩いて事故に合わないよう気をつけましょう。少しなら、その一杯が命とり。いつも気をつけている事かも知れませんが、お互いに気を引き締めて明るい新年を迎えましょう。